



檜邑まらまらだより



「Challenge (チャレンジ)！」

「Colorful is wonderful (カラフル イズ ワンダフル)！」

〒 檜邑小学校 検索 ←

<https://www.city.maniwa.lg.jp/site/kashimura-es/>

真庭市立檜邑小学校
第37号

令和8年1月27日
校長 山本 信子 発行

美しい雪景色 ～ 檜邑の自然に感謝～

先週から日本列島に襲来している寒波の影響で、檜邑小学校周辺も雪が積もったり氷が張ったりしています。つつい道の安全や寒さ対策に目がいきがちな私に、子どもたちは自然が織りなす美しさに目を向けさせてくれます。「見て見て!ここから見たら山がめっちゃきれいじゃで。」「ここおもしろい!これが境目で・・・」「スケートリンクみたいになっとる!」等々・・・。自然の美しさを体全体で感じ取る子どもたちの感性に改めて感心させられます。そして、改めて、檜邑の自然の美しさに感動します。一番上の校舎写真は、泰成さん撮影です。白銀の運動場真ん中に入り撮影する姿はまるでカメラマンのようでした。

とは言え、積雪がありすぎると、歩行や通行は困難になります。月曜日に登校した子どもたちや先生たちが困らないようにと地域の方が学校裏や校門から玄関までの道の雪かきをしてくださいました。こんなに心を寄せてくださっていることに感動です。ありがとうございました。檜邑小学校は地域の学校であることを改めて強く感じています。



体育楽しい! ～縄跳びにチャレンジ!～

体育で縄跳びをしています。全身の運動にもなり、リズム感も養うことのできる縄跳びを使っの運動。一人で楽しむことができる短縄と仲間と共に楽しむことができる長縄、どちらも楽しんでいる子どもたちです。先週、長縄を使って3分間で何回跳ぶことができるかに全校11名で挑戦しました。「100回いったらいいな」と目標を立てていましたが、結果はなんと『114回』。1年生から6年生まで、得意な人も苦手な人もいる中での挑戦です。素晴らしい!嬉しそうな表情に私も嬉しくなりました。「114だからいいよって読めるね。」のつぶやきにさらに心がほっこり。これまた素晴らしい!



檜邑小学校6年生リクエスト給食 ～令和8年1月21日(水)～

この日の献立は「麦ごはん 牛乳 さばのみそ煮 ゆかりあえ すまし汁」でした。いくつかのリクエストの中から栄養士さんが調整してくださいました。「ゆかりあえ大好き」「さばのみそ煮がとてもおいしかった」等、校内だけでなく校外の先生からも好評だった献立です。身体に優しく栄養満点!給食に感謝!檜邑小6年生に感謝!



【お知らせ】～一緒に学びましょう!ぜひお越しください～ ※どちらも外部講師による授業です
令和8年2月 4日(水)5校時(13時55分～14時40分)「異文化と多様性を学ぶ」
令和8年2月12日(木)3校時(10時45分～11時30分)「脱炭素社会について」



給食感謝集会&食育指導 ～ 令和8年1月23日 ～

給食週間に合わせて、檜邑小学校では栄養士の岩崎先生、給食配送ドライバーの福島さんをお招きし、感謝集会を行いました。岩崎先生からは、学校給食共同調理場で給食を作っている様子等についても教えていただきました。児童からは、岩崎先生と福島さん、そして、校内での給食に関するお仕事を担ってくださっている校務員の竹中先生に手紙を渡しました。その後一緒に給食をいただきました。岩崎先生が「とてもいい雰囲気です給食を食べてくれているので嬉しいです。自分が食べられる量も調節しながら、残菜が0(ゼロ)なものを作る側にとってはとても嬉しいことです。」と伝えてくださいました。苦手なものが出る日もありますが、ちょっとずつ挑戦しながら、給食時間が楽しい時間であり続けたいと思いました。

私たちが安心安全で美味しい給食をいただけるのは、献立を考えてくださる栄養士さん、給食を作ってくださる調理員の皆さん、牛乳や給食を時間通りに運んでくださるドライバーの方、給食費を払ってくださる保護者の方、校務員の竹中先生…大勢の方の支えがあってこそだということを改めて考えることができました。いつもありがとうございます。真庭食材の日、真庭特産品プラス1、リクエスト給食、郷土食献立等々、工夫がいっぱいの真庭の給食。給食からも真庭の良さをふんだんに感じ取ることができます。給食大好きな私にとっては、毎日の給食時間が楽しみでなりません。「校長先生は食いしん坊なんだから…」と子どもたちの声が聞こえてきそうです(笑)。

朝のトークタイム 毎週水曜日 8時20分～8時35分

3学期のテーマは、できるだけ子どもたちからみんなに尋ねたいことがテーマとなって対話が繰り広げられるといいなと願い、テーマを決める人を募集しました。1月21日はひろさんが提案してくれました。対話カードの中から『命の価値はみんな同じ?』を選び、テーマとしました。大人も一緒にう～んと考えられるテーマです。子どもたちの対話を一部紹介すると……

「すべての生き物が同じと思っている人は少ないんじゃないかな」「人間は虫を殺している」「蚊、蜂、カメムシ、蟻…」「虫は人間にダメージを与える」「命は平等と思っていても大事にしていない」「死ぬからいつ殺してもいい?!」「命の価値は同じなのでは」「人間と虫、どちらを優先する?」「どこまでを命っていうのかな」「ウイルスにも命がある?」「繁殖するからあるのかなあ」「殺す殺されるは関係ないと思う」「命ってそんなに軽いものなのかな」「みんな1つずつしかない」「人間もおじいちゃんおばあちゃんになると死ぬ」「おじいちゃんおばあちゃんにならなくても死ぬこともある」「命は同じじゃないかな」「寿命で死なない生き物もいるって聞いたことがある」「クラゲは嫌っていう人もいるけど私は好き」……ここで時間になり、この日は終了。「もっと一人一人の考えを聞いてみたいと思った」とふり返りで話してくれたひろさん。一人一人違うから自分以外の人の考えを理解するのは容易ではないけれど、なんか楽しい。それを積み重ねたいと思うのです。テーマの次回提案者は泰成さんです。

